サステナビリティビジョン2050

Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

第78期
中間
報告書

株主の皆様へ

2022年6月1日▶2022年11月30日

Contents

経営の概況 …… 01
セグメント別の概況 …… 03
三協立山のサステナビリティ …… 08
持続可能な開発目標の取り組み …… 09
連結財務諸表 …… 13
会社概要／株式情報 …… 14

三協立山株式会社

証券コード 5932

代表取締役社長 **平能 正三**

当第2四半期の経営環境と営業概況

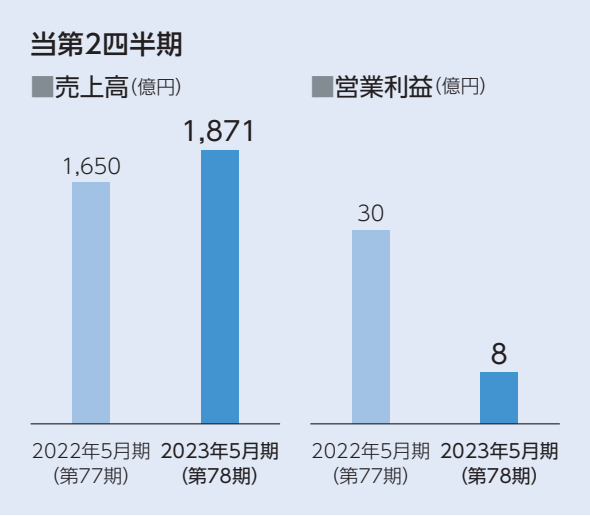
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く外部環境は、経済活動の正常化が進み、景気停滞からの持ち直しの動きがあるものの、日米金利差拡大を背景とした円安などによる資材やエネルギー価格の上昇、新型コロナウイルス感染症拡大によるサプライチェーンの混乱影響などに加え、ロシアのウクライナ侵攻を巡る地政学的リスクの高まりにより、景気下振れが懸念される状況が続いております。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,871億28百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益8億75百万円（前年同期比71.2%減）、経常利益13億24百万円（前年同期比52.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億14百万円（前年同期比47.3%減）となりました。

配当につきましては、業績状況や内部留保の充実などを勘案したうえで、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としており、当中間配当は1株当たり10円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



経営理念

お得意先・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

行動指針

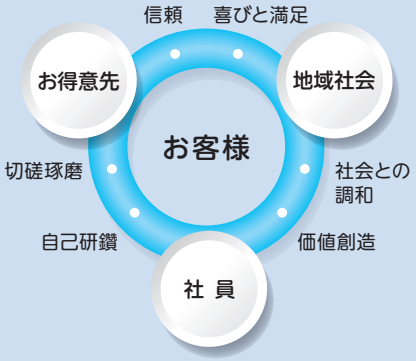
私たちは

お客様満足 ① 常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。

価値創造 ② 技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。

社会との調和 ③ 環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。

自己研鑽 ④ 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。



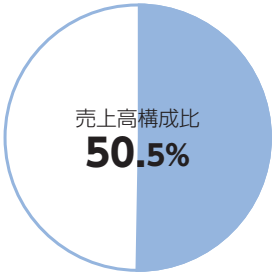
CSポリシー

- お客様満足を第一とし、“常にお客様の立場・視点で考え行動”しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、“期待や問題点をしっかりと把握”しよう。
- お客様の満足実現に向け、“創意・工夫で改善、提案”しよう。
- お客様の“満足こそが仕事の成果”であると心がけよう。
- お客様の満足を、“共にわかち合えることに感謝”しよう。

建材事業

三協アルミ

多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と
「省エネ・バリアフリー・高耐久」を考慮した住宅建材、
そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の
提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。



建材事業では、新設住宅着工戸数のうち持家が前年同期比で減少している中で、エクステリア建材およびビル建材での売上増、特にビル改装分野が好調に推移したことから、売上高943億82百万円（前年同期比4.1%増）となりました。利益については、価格改定を進めておりますが、諸資材価格の上昇影響を吸収しきれず、セグメント損失5億96百万円（前年同期はセグメント利益17億18百万円）となりました。

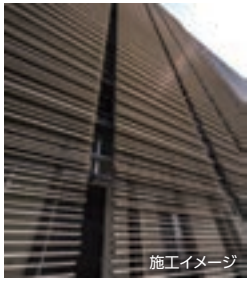
ビル建材

ビル建材事業では、今後の需要拡大が予想される開口部の高断熱化に対し、建物の改修時に断熱性能を高めることができる改修用アルミ樹脂複合サッシ「Grows（グラウス）-R」を発売しました。また、ビル・マンション用アルミ手すり「FINEMASTER（ファインマスター）」シリーズに高層・超高層向けの高強度タイプ「FINEMASTER HB」と寒冷地の施工に特化した「FINEMASTER CB」を発売し、商品の拡販に注力してまいりました。

また、グッドデザイン賞を受賞した外装ルーバー「タワースクリーン TSRシリーズ」風騒音対策型など、今後も快適な室内をつくる改装商品や環境配慮商品の提案に注力してまいります。

改修用アルミ樹脂
複合サッシ
「Grows-R」

ビル・マンション用 アルミ手すり
「FINEMASTER HB／CB」



外装ルーバー
「タワースクリーン TSRシリーズ」
風騒音対策型

住宅建材

住宅建材事業では、スマートフォン施解錠機能などにより、利便性や性能を強化した新アパートドア「AXⅡ」の市場投入をはじめ、生活スペースを区切りながらも開放感を実現したインテリア建材「AMiS室内窓」など、トレンドへの対応と性能を両立した商品の開発を進めてまいりました。

また、脱炭素化の実現に向け、既存住宅の断熱性能向上に資する後付樹脂内窓「プラメイクEⅡ」の拡販などにも注力しています。

アパートドア「AXⅡ」

インテリア建材「AMiS室内窓」

後付樹脂内窓「プラメイクEⅡ」

エクステリア建材

エクステリア建材事業では、メンテナンス性に優れた歩行者自転車用柵「ピュアライン」シリーズに、アルミ製として業界初となる支柱ピッチ3mタイプの追加をはじめ、背面支持の設置が可能なカーポート「ダブルフェース」に最大7連結まで対応可能な連結タイプを追加するなど、独自性のある商品開発に注力してまいりました。

また、人工木デッキ「ひとと木キュアーズ」に、市場から要望のある幕板仕様を追加するなど、今後もお客様の声を積極的に反映した商品強化を進めてまいります。

歩行者自転車用柵「ピュアライン」

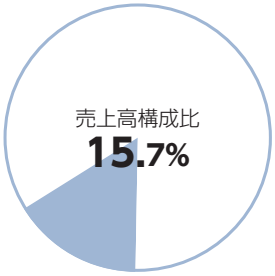
カーポート「ダブルフェース」

人工木デッキ「ひとと木キュアーズ」

マテリアル事業

三協マテリアル

無限の可能性を秘めたアルミニウムやマグネシウムなど、
次世代のマテリアルを提供しています。

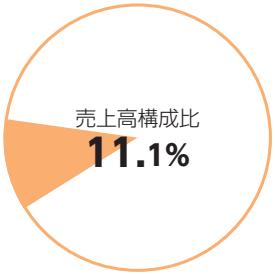


マテリアル事業では、輸送分野が減少したものの、一般機械分野が好調であったことや、アルミ地金市況に連動する売上の増加などにより、売上高293億98百万円（前年同期比19.4%増）となりました。利益については、諸資材価格の上昇影響はあったものの、収益改善施策の実施により、セグメント利益19億43百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

商業施設事業

タテヤマアドバンス

ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、
看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工
およびメンテナンスを提供しています。



商業施設事業では、小売業を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込み、売上高は前年並みの208億6百万円（前年同期比0.6%増）となりました。利益については、諸資材価格の上昇に対して価格改定などを進めておりますが、円安による為替影響などにより、セグメント利益3億9百万円（前年同期比69.8%減）となりました。

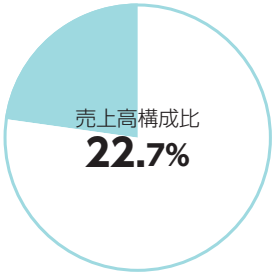
汎用什器「タテヤマゴンドラ」

突出し看板をローコストで　内照式「小型片面看板」

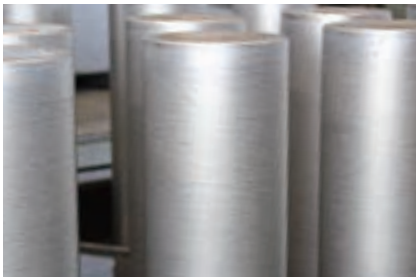
敷くだけ免振「ユレいなす」

国際事業

欧州・中国・タイにある海外拠点において、
アルミニウムの鋳造・押出・加工を行い、
高付加価値製品を提供しています。



国際事業では、アルミ地金市況に連動する売上の増加や為替影響、欧州の自動車分野が堅調に推移したことなどにより、売上高424億36百万円（前年同期比47.7%増）となりました。利益については、エネルギー価格の上昇などの影響がありましたが、欧州子会社にてコスト改善施策を進めたことにより、セグメント損失6億96百万円（前年同期比5億44百万円の改善）となりました。



三協立山のサステナビリティ

マテリアリティ

サステナビリティビジョン2050に基づき、持続可能な社会への貢献を通じて企業価値を高めていくために、当社として中長期的に取り組むべき重要課題として、2030年を目標年と置き設定。

ESG	カテゴリー	マテリアリティ(重要課題)	主な取り組み	関連したSDGs
E Environment 環境	環境	気候変動への対応	●温室効果ガス排出量の削減 ●製品使用時CO_2排出削減の貢献	7 9 11 12 13
		資源の有効活用	●循環アルミの使用を促進 ●樹脂の再資源化を推進 ●廃棄物削減活動の継続	7 9 11 12
S Social 社会	労働慣行	働きやすい職場環境づくり	●社員の意見を吸い上げる仕組みづくり	8
		健康と安全	●健康安全な職場環境の整備	3 8
		多様性と人材育成	●創造性に富む人材の確保・育成 ●女性社員の活躍 ●シニア人材の活躍	5 8 10
	公正な事業慣行	公正な取引、汚職防止	●法令・コンプライアンスの遵守	16
		サプライチェーンマネジメント	●グリーン調達、CSR調達の推進	12
	消費者課題	お客様満足の追求	●お客様のCSR方針・要望に応える商品・サービスの提供 ●取引先との協業による品質向上	12
		製品の安全確保	●有害化学物質の管理と削減	3 12
G Governance ガバナンス	企業統治	コーポレート・ガバナンス	●内部統制の強化	11 16
			●製品安全・品質の向上 ●サステナビリティ政策の推進	12 16

2030年 目標

温室効果ガス排出量		女性管理職比率
50%減 (2013年度比) 対象：国内グループScope1+2※	循環アルミの使用を促進	10%

※Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出　Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出

持続可能な開発目標の取り組み

<TOPICS>

当社グループは、SDGsの達成と持続可能な社会の実現に向け、事業を通じて社会の課題解決に取り組んでいます。

Environment
環 境

国立大学法人富山大学と共同研究講座を設置

当社は、国立大学法人富山大学(以下、富山大学)と共同でアルミリサイクル及び押出加工の革新研究を行うための共同研究講座を2022年8月、先進軽金属材料国際研究機構に設置いたしました。

共同研究講座設置の目的

今回の共同研究講座では、資源循環に欠かせないアルミリサイクル技術の向上につながる研究や、さらなる軽量化が期待される自動車・鉄道分野などに向けた、押出加工プロセスの革新研究に取り組むことで、当社が目指すサステナビリティへの礎を築くとともに、将来的な社会変革に資する研究成果の実現を目指します。加えて富山大学との共同研究により、未来のアルミ産業の担い手となる若手人材の育成にも貢献したいと考えています。

予定する研究課題

1. アルミスクラップの不純物制御に関する研究
2. 超高強度アルミ合金の押出加工・熱処理プロセスに関する研究

高断熱性能を備えたビル改修専用サッシ アルミ樹脂複合サッシ「Grows（グラウス）-R」発売

三協アルミ社は、高断熱性能を実現したビル改修専用のアルミ樹脂複合サッシ「Grows（グラウス）-R」を発売しました。

政府が発表した2050年カーボンニュートラル実現に向け、集合住宅においても省エネ補助金事業によるリフォーム需要が増加しており、窓の断熱化に対するニーズが加速しています。

「Grows-R」は、耐久性に優れ、劣化しにくいアルミを室外側に、断熱性・防露性に優れた樹脂を室内側に組み合わせたハイブリッド構造で、断熱性能H-5※1を実現しました。さらに、水密性はW-5※1、耐風圧はS-5※1を実現しており、中高層ビル用※2サッシに求められる性能を確保しています。

建物の改修を行うことで性能を高めることが可能となり、省エネルギーに貢献しながら快適な空間を提供できるようになりました。

※1　性能は窓種、障子使用区分、ガラス仕様により異なります　※2　建物高さ50m／15･16階建相当を想定

簡易型突出し看板をローコストで　内照式「小型片面看板」をラインアップ

タテヤマアドバンス社は、店舗の外壁などに取り付ける、内照式「小型片面看板」を新たにラインアップしました。

これまで片面看板は規格品がなく、お客様自身で突出し看板を改造し使用されていましたが、今回、メーカーとして必要な部材で適切に構成し製品化しました。お店や施設のイメージに合わせて選べる5タイプの多彩なデザインをご用意しています。

持続可能な開発目標「SDGs」やエネルギー価格の高騰などを背景に省エネルギー化が注目される中、内照式「小型片面看板」の内部光源は、環境負担の少ないLEDとなっており、消費電力の削減につながります。

Social
社 会

「まちなか学生シェアハウスfil(フィル)」入居者用のベッドフレームを提供

三協マテリアル社は、「まちなか学生シェアハウスfil(フィル)」へベッドフレームを提供しました。
「まちなか学生シェアハウスfil」は富山大学と株式会社富山市民プラザが連携して進めている学生向けシェアハウス事業で、学生が街なかに居住し街と関わる仕組みを作ることで、県外への流出抑制や中心市街地の活性化を目的として行われています。
ベッドフレームは、高さや色など学生と意見交換を行い当社が設計。床板など手に触れる部分は、富山県産のひみ里山杉を使用しました。
2022年11月、ベッドフレームの組み立て作業を行い、学生たちに富山の産業に興味を持ってもらうため、使用する材料であるアルミニウム加工工場の見学や、ひみ里山杉の伐採体験も行いました。

食品ロスなどの社会的課題解決に向けた取り組み
非常用食料品を社会福祉法人に寄贈

当社は、食品ロスなどの社会的課題解決に向けた取り組みとして、当社が備蓄している非常用食料品を、社会福祉法人高岡市社会福祉協議会に寄贈しました。

当社では災害発生時に備え、全国各支店の従業員1人ずつに、非常用食料品などを入れた、「個人管理非常用持ち出し袋」を配布しています。また、帰宅困難者対策用に各支店の在籍人数に応じて「非常用備蓄品」も配備しており、これらを5年ごとに入れ替えを実施しています。
今回、各支店の補充用として別途本社で管理している非常用食料品を寄贈することで、SDGsの目標でもある社会的課題の解決や地域社会への貢献につながる具体的な取り組みであると考え実施しました。
今後もさまざまな活動を通じて社会に貢献してまいります。

Governance
ガバナンス

「パートナーシップ構築宣言」を公表

当社は、内閣府や中小企業庁などが推進する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、「パートナーシップ構築宣言」を策定・公表いたしました。
今後も当社は、サプライヤーとの新たな連携を進めることで、相互の付加価値向上、サプライチェーン全体での付加価値向上を目指してまいります。

《パートナーシップ構築宣言とは》

- サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携
- 親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）の遵守などを企業の代表者の名前で宣言するものです。

2022年度グッドデザイン賞を受賞 外装ルーバー「タワースクリーン TSRシリーズ」／「DI（ダイナミックインシュレーション）窓」

三協アルミ社が発売している外装ルーバー「タワースクリーン TSRシリーズ」と「DI（ダイナミックインシュレーション）窓」の2商品が、「2022年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）」を受賞しました。

外装ルーバー「タワースクリーン TSRシリーズ」

ファサードのデザイン性と風騒音（風切り音）の抑制を両立した格子タイプの風騒音対策型ルーバーです。ルーバーの角部に曲面を設けることで、ルーバーに対して風が吹きつけた際に生じる風騒音を低減しました。目板にも曲面を設けることで360°全ての方向からの風騒音を低減することができ、外観と内観の意匠を統一することが可能です。

施工イメージ

「DI（ダイナミックインシュレーション）窓」

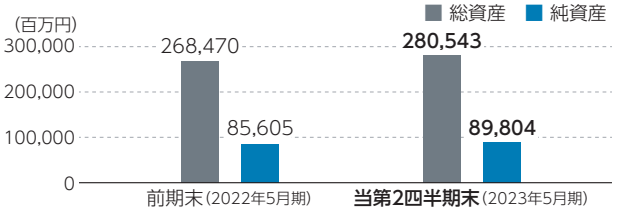
窓を開けずに「換気しながら高断熱」を実現する二重窓です。窓と24時間換気を組み合わせることで、外窓と内窓の間に取り入れた外気を対流させ、その空気の流れで窓から逃げる熱を回収する「室温に近い心地よい換気」と、窓でありながら「外壁並みの高断熱」を実現。快適に住み続けるためのお手伝いをいたします。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期末 2022年11月30日現在	前期末 2022年5月31日現在
資産の部		
流動資産	152,186	141,698
現金及び預金	17,944	18,420
受取手形、売掛金及び契約資産	62,124	55,105
電子記録債権	5,573	5,486
有価証券	10	1,492
商品及び製品	21,362	19,507
仕掛品	17,727	15,931
原材料及び貯蔵品	19,874	17,407
その他	8,394	9,105
貸倒引当金	△ 825	△ 758
固定資産	128,357	126,772
有形固定資産	103,520	102,115
無形固定資産	4,189	4,207
投資その他の資産	20,647	20,449
資産合計	280,543	268,470
負債の部		
流動負債	127,958	121,826
支払手形及び買掛金	50,076	49,361
電子記録債務	20,016	20,339
短期借入金	17,623	12,103
その他	40,241	40,022
固定負債	62,781	61,039
長期借入金	43,655	40,698
その他	19,125	20,340
負債合計	190,739	182,865
純資産の部		
株主資本	73,202	72,864
その他の包括利益累計額	13,524	9,699
非支配株主持分	3,078	3,040
純資産合計	89,804	85,605
負債純資産合計	280,543	268,470



四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（累計） 2022年6月1日～2022年11月30日	前第2四半期（累計） 2021年6月1日～2021年11月30日
売上高	187,128	165,066
売上原価	153,554	128,968
売上総利益	33,574	36,097
販売費及び一般管理費	32,699	33,062
営業利益	875	3,034
営業外収益	1,021	576
営業外費用	572	816
経常利益	1,324	2,794
特別利益	19	250
特別損失	144	372
税金等調整前四半期純利益	1,198	2,672
法人税等	652	1,582
四半期純利益	546	1,090
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	514	976

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期（累計） 2022年6月1日～2022年11月30日	前第2四半期（累計） 2021年6月1日～2021年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,700	1,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,232	△ 4,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,799	1,823
現金及び現金同等物に係る換算差額	313	△ 366
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 820	△ 763
現金及び現金同等物の期首残高	16,926	22,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,106	21,606

会社概要／株式情報（2022年11月30日現在）

■会社概要

会社名	三協立山株式会社
所在地	〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
設立	1960年6月20日
資本金	150億円
従業員数	連結：10,305名／単体：4,974名
URL	https://www.st-grp.co.jp/

■役員

代表取締役社長	社長執行役員	平能正三
代表取締役	副社長執行役員	黒崎聡
取締役	常務執行役員	池田一仁
取締役	常務執行役員	西孝博
取締役	常務執行役員	吉田経晃
取締役	常務執行役員	久保田健介
社外取締役		吉川美保
取締役	監査等委員（常勤）	本川透
取締役	監査等委員（常勤）	西岡隆郎
社外取締役	監査等委員（常勤）	長谷川弘一
社外取締役	監査等委員	釣長人
社外取締役	監査等委員	荒牧宏敏

■事業セグメント

■株式の状況

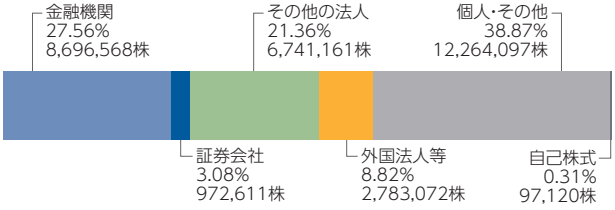
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	31,554,629株
株主数	19,437名

■大株主（上位10名）

株主名	所有株式数（千株）	出資比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,561	11.32
住友化学株式会社	2,235	7.11
三協立山社員持株会	1,366	4.34
三協立山持株会	1,280	4.07
ST持株会	1,215	3.86
三井住友信託銀行株式会社	971	3.09
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	950	3.02
株式会社北陸銀行	888	2.83
住友不動産株式会社	809	2.57
第一生命保険株式会社	445	1.42

（注）出資比率は自己株式97,120株を除いて算出しております。

■所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日
定時株主総会	8月
基準日	定時株主総会　5月31日 期末配当　5月31日 中間配当　11月30日
上場証券取引所	東京
公告方法	電子公告（https://www.st-grp.co.jp/） ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
＜郵便物送付先＞	〒168−0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
＜電話照会先＞	0120−782−031
＜インターネットホームページURL＞	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

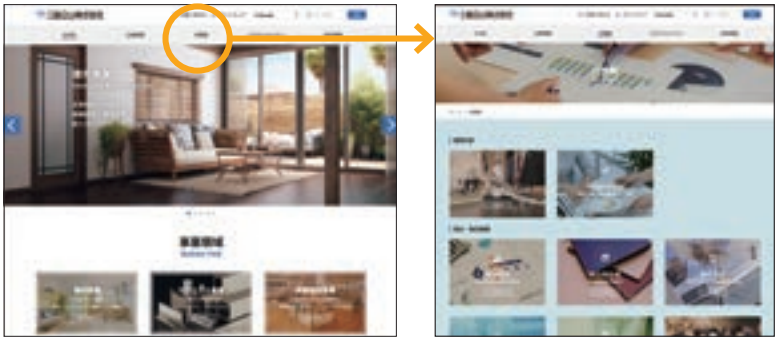
特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先にお願いいたします。

単元未満株式の買取請求および買増請求の取扱い

単元（100株）未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

ホームページのご案内



詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

https://www.st-grp.co.jp/ 三協立山 検索

今後のIRスケジュール

- 2023年4月上旬　2023年5月期 第3四半期決算発表
- 2023年7月中旬　2023年5月期 決算発表
- 2023年8月下旬　2023年5月期 報告書発送

三協立山株式会社
〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
TEL 0766-20-2101

UD FONT

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK

この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。